

大沢田

おお

そう

た

大沢田の名は、病院前にある大沢田池に由来します。古くは大蔵田池と言われていましたが、今では大沢田池の呼称が一般的になっているようです。



新外来診療棟イメージ図(外観)

トピックス

地域で必要とされる病院として

経営企画室長
水野 智志

目次

地域で必要とされる病院として	1	高速道路の「緊急用開口部」の設置について	6
外来診療棟等新築整備工事の進捗状況について	2	インフルエンザにご注意を!	6
東広島医療センターでの分娩予約開始の報告	3	「患者さんのご意見用紙」と「対応内容」について【第2回】	6
医師事務作業補助者とは?	4	外来診療担当医表	7
医療安全発表会	5		



独立行政法人 国立病院機構
東広島医療センター

〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513番地
TEL 082-423-2176 FAX 082-422-4675
<http://www.hiro-hosp.jp/>
発行責任者:事務部長 宮本 一男

Higashihiroshima News OZOUTA Vol.102
平成23年 東広島医療センター「大沢田」

日頃は私ども東広島医療センターの運営にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

平成16年4月に国立病院から独立行政法人化して約7年半が経過いたしました。当院も国立療養所広島病院から東広島医療センターへ名称変更し、同時に私の現在所属する経営企画室が全国の国立病院機構各病院に部署創設されました。経営企画室とは文字通り、病院の経営を分析・企画・立案する部署であります。独立行政法人化により、国立病院時代に増しての独立採算経営のために設置されました。国立病院機構は5年ごとの中期計画を作成しその達成のため努力しておりますが、現在は第2期中期計画のちょうど真ん中です。

病院の存在意義は、地域の住民・患者の方々・医療関係機関様等に必要とされる医療機関であることであると考えます。その病院で働く各職員は患者の治療に貢献することをやり甲斐・目標として日々業務に努めております。その職員が患者の治療に貢献し続けるためには、医療を提供する場としての病院が健全な経営・運営であることが大前提となると考えます。

当院は健全な経営のため、またより多くの患者に必要とされる病院となるため、独立行政法人化の数年前からいわゆる「結核の療養所」から一般医療へ、さらには急性医療病院へとその運営方針の舵を大きく切りました。これまでに地域医療支援病院の承認、管理型初期臨床研修病院の指定、日本医療機能評価機構認定基準の取得、地域がん診療連携拠点病院の指定、DPC病院への移行を行い、政策医療のがん、循環器病、呼吸器疾患、内分泌・代謝性疾患、肝疾患に関する専門医療施設としてまた医療圏における中核病院・急性期病院としての診療を行っています。その結果、多くの公立系病院が赤字に苦しむ中、ありがたくも当院は平成19年度には経常収支100%超えを達成し現在も維持しています。この収支状況は、住民・患者の方々・医療関係機関様にこの地域で必要とされる病院としてお認めいただいた1つの結果であり、かつ諸先輩方を含む多くの当院職員の経営改善への取り組みのおかげと思っております。

今後も診療報酬制度による誘導等によって医療はより機能分化し、介護・福祉サービスを巻き込みながらの役割分担を求められることが予想されます。患者への医療は当院のみで完結しえません。病病連携、病診連携を強化し、地域の先生方との協力の基に、地域の皆様のニーズに即した医療提供を続けていくことが大切です。

そうした結果、病院経営も健全化され、ひいては現在一部の都会を除く日本全国で問題視されています医師・看護師不足に陥ることなく、職員が働く意欲を持ち働きたいと思う、患者へよりよい医療を提供するやりがいのある病院となることが出来ると考えます。

当院は、平成23年度中には外来管理診療棟を新築し地域周産期母子医療センターを開設予定であります。当センターの機能充実、また東日本大震災のような大規模災害時にも対応可能な病院となること等が今後地域の皆様から求められていくのではないのでしょうか。経営企画室は今後もそういったニーズに答えながら、病院の進むべき方向性を示し、経営改善の提案・企画を行って参ります。

ただし、病院経営改善を実施して行く中でも忘れてはならないのは、当院の理念である「いのちの尊厳と人間愛に根ざした、誠実で親切な患者さま中心の人にやさしい、癒しの持てる医療」の実現です。今後もその実現のために努力して参りますので、地域の住民・患者の方々また医療関係機関様等の一層のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



外来診療棟等新築整備工事の進捗状況について

来年には新しい建物での運用を開始いたします。
また、最新鋭の大型医療機器も数点導入予定です。
今回の工事費用には広島県の補助金及び東広島市の補助金が含まれております。
工事期間中は、駐車場の混雑、工事の騒音、大型車両の出入り増加でご迷惑をお掛けすることとなります。不自由な点もあるかと思いますが、危害防止に努めますので、ご了承くださいようお願いします。



東広島医療センターでの 分娩予約開始の報告

統括診療部長 勇木 清

2012年初頭に当院は外来棟建て替え移転、周産期病棟開設を迎えることとなります。これらに向けていろいろな準備を行ってきましたが、その中でも最も重大な案件は何と言いましても周産期施設の準備です。広島県周産期医療体制整備計画に基づいて、各方面との調整を行ってきました。院内では周産期準備委員会を立ち上げ、次期産婦人科部長予定の三好先生と小松先生を中心に様々な検討を行ってまいりました。既に東広島市の広報や当院ホームページなどでご存じかと思いますが、分娩の予約開始を10月23日より始めました。対象は分娩予定日が来年5月1日以降の妊婦の方となります。実際の分娩予約方法ですが、当院はまだ産科を開設していないため、現在産婦人科医療機関（分娩予定日を決定した施設）からの予約に限定しての施行となります。近隣の産科医療機関への広報ならびにお願い、予約申込用紙の配送などなど三好先生を中心に行っています。安全に産科診療を開始するために、当面分娩数を制限させて頂くとともに、当院の全診療科の体制を考慮した受け入れ態勢で調整させて頂いています。実際の産科の診療開始日は平成24年3月21日（妊婦健診・産科救急も同日より開始）です。産科診療内容は妊婦健診、正常分娩、異常妊娠、合併症妊娠、異常分娩、産科救急などですが、産科、婦人科の外来診療については、全て予約制となります。平成24年3月21日以降の受診予約は3月1日から受付を開始予定としています。さらに今後NICUなどを含めた医療スタッフの育成ほか様々な医療システムの構築準備等が控えており、地域の方にさらに信頼される病院となるよう努めてまいります。



医師事務 作業補助者 とは？

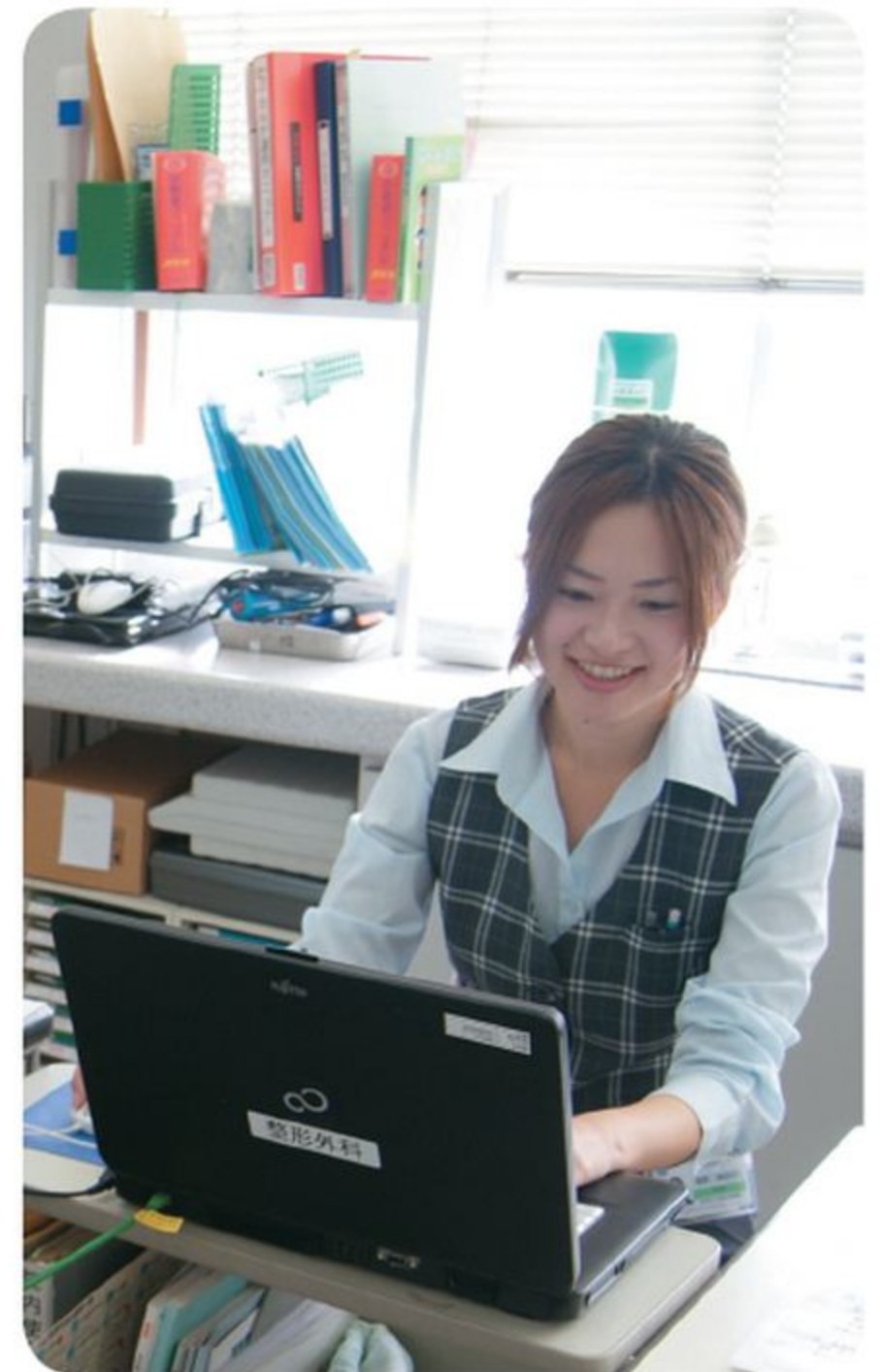


医師事務作業補助者制度は、医師の業務負担軽減を目的として平成20年の診療報酬改定を機に導入されました。

医師事務作業補助者の業務範囲は、診断書などの文書作成補助、カルテへの代行入力、医療の質の向上に資する事務作業（診療に関するデータ整理、院内がん登録等の統計・調査、医師の教育や臨床研修のカンファレンスのための準備作業等）並びに行政上の業務（救急医療情報システムへの入力、感染症のサーベイランス事業等）への対応を医師の指示の下に行うこととなっています。一方、医師以外の職種の指示による業務（診療報酬算定業務、窓口・受付業務、看護業務の補助並びに物品運搬業務等）には従事できないとされています。

当院では、平成22年4月に9名を採用し75：1の施設基準でスタートし、現在では25：1（在籍20名、うち現在3名育休）の体制をとっています。

医事専門職 野津 誠



私たち医師事務作業補助者は、その名のとおり医師の事務作業の補助をすべく現在17名で業務に当たっています。主な業務内容をご紹介します。

まず外来では、電子カルテの代行入力を行っています。医師の指示の下、診療内容や検査予約等を代行入力することで、患者さんの待ち時間短縮や、医師の負担軽減につながるよう業務に取り組んでいます。

病棟では、退院サマリの下書き入力や診断書の作成補助をしています。

そのほかには、紹介状の返事作成請求や、救急外来の補助等も行っていきます。

医師事務作業補助が発足して1年半が経過した平成23年9月には、これまでの経験を基に3グループのチームを組み、担当診療科を持つことになりました。個人のレベルアップを図り、それぞれの専門性を高めることで、これまで以上に医師の要望に応えられるよう努力しているところです。今後も、医療チームの一員であるという自覚と責任を胸に、少しでも医師の負担軽減に貢献できるようがんばります。

医師事務作業補助リーダー 神田 亜美 松浦 あゆみ

医療安全発表会

■平成23年度 医療安全推進月間取り組み発表会プログラム

1グループ (17:30~18:10)	6病棟	インシデントを学ぼう	発表者:増田 雅子
	臨床検査科	血液製剤におけるヒヤリハットのその後	発表者:本間 孝志
	2病棟	バック・バルブ・マスクを安全に使用するために～インシデント事例からの取り組み～	発表者:岡崎 知佳
	外来	採血済検体紛失への取り組み～メディカルセーファ―を用いて意識の向上をはかる～	発表者:堀田 美香
	栄養管理室	誤配膳防止への取り組み	発表者:宮城 正和
2グループ (18:10~18:45)	4病棟	インシデントカンファレンスを行って	発表者:本谷 邦子
	企画課	大型機器等の納品確認(安全対策の強化)	発表者:中島 正勝
	手術室	タイムアウトの定着化に向けての取り組み～より安全な環境のため～	発表者:山中 祐二
	放射線科	医療機器安全管理の一取り組み	発表者:新見 聖司
	管理課	車いす保守点検作業その工夫～事務部管理課の取り組み～	発表者:富保あずさ
3グループ (18:45~19:20)	薬剤科	フェントステープ(麻薬)に関するアンケート調査について	発表者:小倉 千奈
	リハビリテーション科	車いすの段差越え介助方法	発表者:志摩 雅昭
	1病棟	抑制患者のカンファレンスによる抑制解除に向けた看護の取り組み	発表者:村山 千歳
	3病棟	転倒・転落予防のための取り組みについて	発表者:津留見早織
	10病棟	危険予知能力の向上を目指して～インシデントカンファレンスの効果を分析する～	発表者:入江 和子
	5病棟	内服自己管理確認を確実に!	発表者:隅田 典子

■医療安全推進月間取り組み発表会の投票結果

平成23年8月4日 医療安全管理室

7月27日の「医療安全推進月間取り組み発表会」の投票結果です。発表会には、150名の参加がありました。

1位 手術室 タイムアウトの定着化に向けての取り組み
～より安全な環境のため～
手術室・中材 山中 祐二



今回、手術室ではタイムアウトの実施について取り組みました。スタッフ全員が術者と同じ認識で手術に臨むことができ、追加器械などの準備がスムーズに行われるようになりました。これからも患者さんに安全な手術を提供できるように努めたいと思います。

2位 管理課 車いす保守点検作業その工夫
～事務部管理課の取り組み～
管理課庶務係 富保 あずさ



車いすの保守作業は患者様に安心して過ごしていただくためには不可欠であり、また、各職場の皆さんの協力無しにはできないことです。今後も各職場と積極的に情報交換を行い、事務部として活動の幅を広げられるよう、努力したいと思います。

3位 2病棟 バック・バルブ・マスクを安全に使用する
ために～インシデント事例からの取り組み～
2病棟 看護師 岡崎 知佳



インシデント事例から「バック・バルブ・マスクが緊急時に使用できなければ、何の意味もない。」と病棟全体の意識が変わり、取り組み後も継続して作動確認を行えています。病棟全体として取り組んだ結果、今回の受賞に繋がりました。今後も安全看護を提供できるよう取り組んでいきたいです。

8月2・3日、手術室、管理課、2病棟を訪問し、竹崎副院長より発表者に表彰状を授与していただきました。

当日、成果発表して下さいました16部署の皆様、医療安全推進のための取り組みありがとうございました。どの取り組みも発表もすばらしかったと思っています。これからも、医療安全のための取り組みをよろしくお願ひします。16部署の発表内容を掲載しています。

高速道路の「緊急用開口部」の設置について

経営企画室長 水野 智志

当院では重篤な患者が山陽自動車道の西条又は志和インターから救急搬送されるケースも多い状況です。

当院と山陽自動車道は約800メートルしか離れていないことから、緊急搬送の環境を改善すべく、約2年前から東広島市等へ緊急用開口部の設置を依頼していたところ、今般、西日本高速道路（ネクスコ西日本）が当院と東広島市の要望を受け約二千万円をかけて緊急用開口部の整備を行いました。

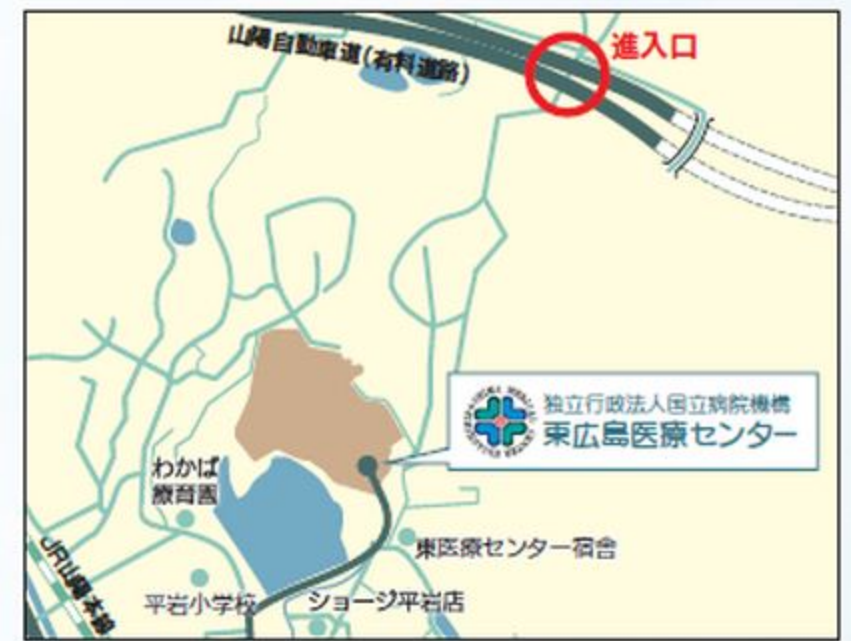
高速道路に近い医療施設への救急車専用の出入り口は全国では10例目となりますが、中国地方では福山市民病院に次いで当院が2例目となります。

この緊急用開口部の設置により、当院から約2分で山陽自動車道に乗り入れることが可能となり、従来の搬送時間が10分以上短縮出来ることとなりました。

今後は、緊急用開口部から当院までの道路拡幅の整備を経て、来年度から本格的に運用を開始する予定ですが、当面は特に緊急性の高い搬送に限り暫定的に使用します。

この緊急用開口部の利用については、救急車のみならず輸血の運搬車両についても使用が可能となるよう現在ネクスコ西日本と折衝中です。また、医師が速やかに診療出来る体制を更に充実させるため、広島市内に在住している当院の医師が病院からの緊急呼出に応じて緊急用開口部を利用できるよう関係各方面に働きかけています。

当院は市民病院のような自治体病院が存在しない2次医療圏において中核的役割を果たしていることから、今後も東広島市を中心とした地方自治体と一体となって地域医療を充実していくことが重要と考えており、来年度は東広島市（消防署）と連携して病院敷地内にヘリポートを設置すべく現在折衝を重ねています。



緊急用開口部 下り



緊急用開口部 上り



病院との連絡道路



通常は閉鎖しています



病院への進上路（工事中）

インフルエンザにご注意を！

感染制御チーム (Infection Control Team)

朝晩の冷え込みも厳しくなり、そろそろインフルエンザが流行しつつある、という情報も飛び交っています。広島県では10月の下旬に、今シーズン初めての（昨年より約1カ月早い）、集団発生による休校・学年閉鎖のニュースがありました。

皆さん、インフルエンザワクチンは接種されましたか？しかし、インフルエンザワクチンを打ったからといってインフルエンザにかからない、とは限りません!!
・うがいや手洗いの励行・症状のある人はマスクをする（咳エチケット）・栄養や睡眠を十分にとり、体調管理をする等の予防も大切です。

患者さんだけでなく、咳をしている面会者や付き添いの方も注意して下さいね。

—マスクについて—

マスクは正しく装着してこそ効果があります。鼻と顎が覆われていないと意味がありません。

→インフルエンザ予防に
ついでにポスターを11月
から掲示しています!

インフルエンザは予防から
予防が最も効果的です

「患者さんのご意見用紙」と「対応内容」について【第2回】

患者サービス向上委員会

【ご意見内容③】

玄関の傘立てが煩雑なので、なんとかしてほしい。傘袋の脱着がやりにくい。

【対応内容】

①「傘立て」の更新と、②「自動傘袋脱着器」の設置を行いました。傘立ては、使いやすいものを選び、傘袋も自動で脱着出来るものを設置しました。



「患者さんのご意見用紙」は各病棟及び外来にあります。対応状況表は今までは外来掲示のみでしたが、今後は各病棟の掲示も予定しています。

診療科名		月	火	水	木	金
内科 (内分泌科) フット:フットケア外来	午前	①新 小田 賀明 ②再 小出 純子	①新 小田 賀明 ②再 大江 健	①新 大江 健 ②再 小田 賀明	①新 小出 純子 ②再 大江 健	①新 大江 健 ②再 小田 賀明
	午後	①新 小田 賀明	②再 大江 健	②再 小田 賀明	②再 大江 健	②再 小田 賀明
神経内科		①新 野田 公一 ②再 野田 公一	①新 野田 公一 ②再 野田 公一	①新 野田 公一 ②再 野田 公一	①新 野田 公一 ②再 野田 公一	①新 野田 公一 ②再 野田 公一
呼吸器科		①新 重藤 えり子 ②再 村上 功治 ③再 増田 憲治	①新 重藤 えり子	①新 吉光 成児 ②再 重藤 えり子	①新 増田 憲治 ②再 重藤 えり子 ③再 村上 功	①新 村上 功 ②再 増田 憲治 ③再 吉光 成児
消化器科		後藤 栄造 鬼武 敏子	竹崎 英一 笹尾 昌悟 和田 慶洋	井上 基樹 鬼武 敏子	和田 慶洋 笹尾 昌悟	後藤 栄造 井上 基樹
循環器科		①新 小野 裕二郎 ②再 城 日加里 ③再 佐田 良治	①新 ②再 佐田 良治 ③再 柳原 薫 ④再 小野 裕二郎	①新 小野 裕二郎 ②再 柳原 薫	①新 ②再 佐田 良治 ③再 原 幹 ④再 城 日加里	①新 城 日加里 ②再 小野 裕二郎 ③再 (佐田 良治)
小児科		下田 浩子 今井 清香 上野 哲史 【担当医】	下田 浩子 佐伯 哲也 須藤 哲史 【担当医】	下田 浩子 須藤 哲史 今井 清香 【担当医】	下田 浩子 須藤 哲史 上野 哲史 【担当医】	下田 浩子 佐伯 哲也 今井 清香 【担当医】
外科		石田 伸樹 池田 昌博 壽美 裕介	高橋 忠照 豊田 和広 貞本 誠治 (脳神経外科にて) 中谷 玉樹 倉吉 学 石田 / 中野	高橋 忠照 石田 伸樹 貞本 誠治	豊田 和広 中谷 玉樹 中野 亮介	高橋 忠照 池田 昌博 壽美 裕介 (整形外科にて) 倉吉 学 (脳神経外科にて) 中野 亮介
	手術日			手術日	手術日	
整形外科		岸 和彦 今田 英明 田中 隆治	岸 和彦 今田 英明 渋谷 早俊	岸 和彦 田中 隆治	岸 和彦 田中 隆治 渋谷 早俊	今田 英明 渋谷 早俊 手術日
脳神経外科		勇木 清隆 貞友 政志	手術日	右田 圭介 今田 裕尊	勇木 清隆 今田 裕尊 原 政志	右田 圭介 貞友 隆
呼吸器外科		手術日	赤山 幸一	柴田 諭	手術日	柴田 諭
心臓血管外科		森田 悟	手術日	許 吉起	森田 悟	森田 悟
皮膚科		仁熊 利之 糸谷 友里	仁熊 利之 糸谷 友里	(第1・第3) 仁熊 利之 糸谷 友里 (第2・第4) 仁熊 / 糸谷 岡部 勉	仁熊 利之 糸谷 友里	仁熊 利之 糸谷 友里 手術日
	手術日					
眼科(休診)						
耳鼻咽喉科		杉本 一郎 大林 敦人	杉本 一郎 大林 敦人	杉本 一郎 大林 敦人	杉本 一郎 大林 敦人 手術日	杉本 一郎 大林 敦人
歯科		新後 眸			新後 眸	
緩和ケア外来		緩和ケア外来は、第1・第3木曜日の14時から16時まで			【担当】	
2階	泌尿器科	藤原 政治 永松 弘孝	藤原 政治 永松 弘孝	藤原 政治 永松 弘孝	藤原 政治 永松 弘孝	相模 浩二 手術日
	婦人科 (予約制)	小松 正明 手術日	小松 正明	小松 正明 手術日	小松 正明	小松 正明

受付時間 8時30分～11時30分 診察時間 8時30分～17時15分 ※救急患者様は随時診療いたします。

ただし、手術のため、木曜日の耳鼻咽喉科は9時30分まで、金曜日の皮膚科は10時30分までの受付時間となります。

歯科(入院応需)は臨時的に診察曜日が変更となることがあります。

予約受付 再診患者様につきましては、受診時に次回の診察予約ができます。また、定期的に受診されている場合には、電話での予約も可能です。

電話 (082)423-1489 (平日8:30から17:00)

婦人科予約 婦人科については全て予約制なので初診の方も予約してください。

診療日 月曜日～金曜日 (土曜日・日曜日・休日・年末年始は休診となります。)